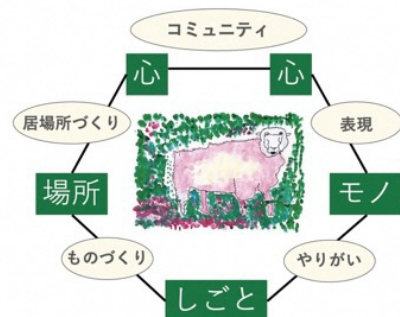




『母たちのスキルアップ支援』とスキルの活用

目的

- (1) 前向きになれるコミュニティと安心できる環境づくりをする
- (2) 障害を抱える子ども達の将来の「しごと」や「居場所づくり」をする



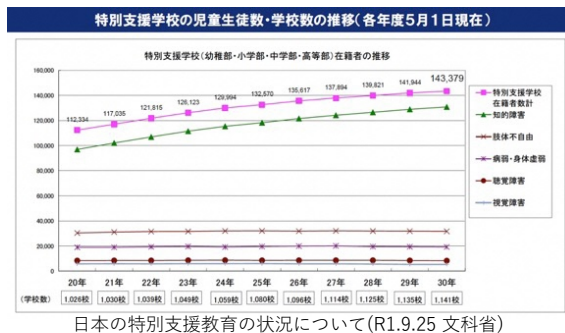
現状

社会背景やきっかけ

- 障害を抱える子どもが増える一方で、個々に合った居場所（施設・就労先等）が圧倒的に少ない状況
- 保護者は学校を卒業した後の子ども達の人生に不安を感じている
- ひとりで悩みを抱えている保護者も多く、まだまだ閉鎖的な環境が見受けられる
- 障害を抱える子どもの子育て環境は、周囲の理解や支援の体制によって大きく変わる
- どのような支援が必要なのか、得意な事は何だろうか、様々な方に関心を持ってもらうことが大切

課題解決のために必要だと考えること

- 気持ちが楽になるコミュニティをつくること
- 障害理解が広がる場をつくること
- 親子が安心できる支援体制や環境づくりをすること
- スキルアップと働く支援をすること

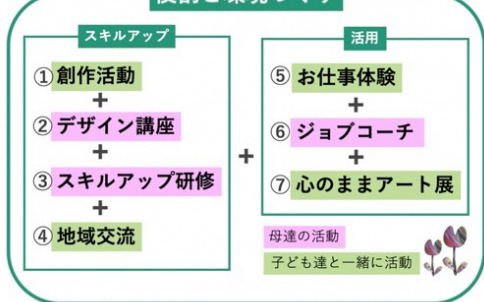


活動

課題解決のための活動

- ① 子ども達との創作活動・創作意欲に繋がる場づくり
- ② 表現の披露の機会をつくり、仕事に繋がるようなサポート体制を学ぶ
- ③ 働き方・過ごし方の見学やチームで様々なスキルを高める研修を実施
- ④ 音楽や芸術イベントなどを通じた地域との交流
- ⑤ 障害者が円滑に就労できるように、職場内外の支援環境を整える
- ⑥ 得意なことを見つれたり、ルールやマナーを学ぶ機会
- ⑦ 活動の披露の場として2017年から開催

役割と環境づくり



チームで子ども達と楽しみながら活動



振り返り

事業の集大成である『心のままアート展』は、コロナ対応としてリアルとオンラインを組み合わせた展示を行いました。リアル展示では、縁あって大型商業施設（ららぽーと）での展示が行え、多くの方々に作品に触れていただくことができました。子ども達の自由な発想、豊かな色彩、ユニークな作品による新たな繋がりが生まれました。多くの方々の心を惹きつけることができたのではと感じています。また、オンライン展示では、様々な事情により会場に足を運びづらい方々の参加手段としての可能性を感じました。

成果指標として設定した来場者・協賛者数については、共に予定していた数値をクリアできましたが、まだまだ参加者の大半は身内や福祉関係者で、一般の方の参加が少ない状況が続いています。引き続き、より多くの方々に取り組みを知っていただくため、オンラインを有効活用しつつ、さらなる周知を行い、作品の展示先も増やしていきたいと考えています。

